

そうか!やってみよう

大きなタマネギの秘密!

学校法人津曲学園 鹿児島国際大学附属鹿児島幼稚園 [5歳児]

<事前の様子> 4歳の12月、園庭にある畑に“タマネギの苗”を植える。「お母さんが、いつもお店から買ってくるネギみたいだ」「こんなネギが、大きくなるの?」と苗に驚いていた。冬の間、マルチング※した黒いビニールを持ち上げてタマネギが大きくなるのを見て、「ビニールが持ち上がってきた」と興味を深めて栽培を進め、土の中のタマネギの生長に目を向けていた。

※マルチング=土を覆う栽培方法

4歳組から5歳組に進級し、どれくらい大きくなるか予想を立てるなど、期待が膨らんでいた。

<収穫の様子> 「大きいタマネギがたくさん採れたね!」「嬉しいね!」「このタマネギが一番大きいよ!」「あかちゃんタマネギ、見つけたよ」と、想像以上に大きなタマネギができて歓声をあげる。みんなで収穫したタマネギの大きさ比べをする話題になり、2グループに分かれて「ベスト10」を決めることになる。

	子どもの行動・意識	読み取り
比べる・確かめる	<p>大きさを何で決める?</p> <p>○2グループに分かれてタマネギを大きい順に並べていく。</p> <p>○大きなタマネギと小さなタマネギを分ける。</p> <p>① 大きさで比べる子</p> <p>「このタマネギが、一番大きいよ」 「どれが大きいかなあ?」 「2つ並べてみればわかるよ」</p> <p>② 重さで比べる子</p> <p>「こっちは重いよ」「これが重いから1番ね」</p> <p>③ 根の多さや太さ、葉の長さも入れて比べる子</p> <p>「大きなタマネギは、ひげがたくさん付いてる」「ひげも太い」「葉っぱも大きいよ」「小さなタマネギは、ひげもちょっとだ」</p> <p>④ 匂いを比べる</p> <p>「大きいと匂いも違うかもね」 「ひゃ〜!大きい方はしみるよ!」 「目が痛くなるね」</p> <p>○この結果、1位〜10位までをもう一度考え直し、順位をつけた。</p>	<p></p> <p>*大きさを比べる際は、形の大きさ・重さ・根や葉も含めた全体と、捉え方が違い、子どもたちの見方や感じ方の多様さに驚く。</p> <p>*ひげ(根)や葉っぱの太さや長さなども含めて、考える子もいて、活発な活動になった。</p> <p>*大きいと匂いも違うかもしれないという言葉が出たので、付け根を切って、匂いをかいだ。同じタマネギでも、大きいタマネギは、それだけ匂いも強いことを知る。</p> <p>*生長過程を観察できた。収穫した物で比較する様子から、生長途中でどうなるかも調べてみると、もっとタマネギのできる過程が見られたのではないかと。</p>
探る・気付く	<p>タマネギの中はどうなっているの? (大きさから中身へ)</p> <p>「でも、タマネギの中はどうなっているのかな」「わからないなあ」 「う〜ん、お料理に入っているけど、どんなになっているのかな」 「じゃ、見てみようよ!」と言い、1番大きなタマネギと小さなタマネギを縦に切る。 「どっちともタマネギの線が入っているよ!」 「きれいな丸の形をしているね」</p>	<p></p> <p>*外観でいろいろな比べ方をしたことで、内側にも興味が向き「だったら中の様子はどうなっているだろう」と、思いを膨らませて中身を観察した。</p>
わかる喜び	<p>タマネギで絵の具スタンプを作って遊ぶ</p> <p>「絵の具につけたら、面白い模様ができたよ」</p> <p>タマネギの中身を並べて遊ぶ</p> <p>「タマネギの中身を数えたら、1、2、3、4・・・たくさんある!」 タマネギを、1枚1枚はがした。「小さな方は少なかったね」 「あれ?パズルみたい」「何枚あるか簡単に数えられるよ!」 「簡単にはがせたよ!並べてみよう」「すごい!何枚もできるよ」 はがした中身を並べる。「大きいタマネギの皮は10枚もあったよ!」 「小さいのは、6枚だった」</p>	<p></p> <p>*赤色の絵の具を用意して置くと、早速タマネギの切り口に絵の具を付けてスタンプングをする。</p> <p>*スタンプングをしたことで、中身がはがせることへの興味が引き出されたのではないかと。</p>

ポイント

大きなタマネギを収穫するという感動体験をした子どもたちは観察が深まり、「大きさの比べ方」によって「大きさの順番」が違ふことに気付いています。数量だけではなく、ひげ(根)や葉、匂いなど特徴的な違いにも関心が向き、「科学する心」により感じたこと気付いたことが次々と言動に表れています。興味が深まることでさらにかかわりも豊かになり、描画表現につながったり確かめたりする行動にも結び付きました。